

第7回酒田市史跡山居倉庫整備基本計画策定委員会 議事概要

開催日時：令和7年11月14日（金）9:30～12:00

開催場所：酒田勤労者福祉センター 3階多目的ホール

1 開会

事務局	開会あいさつ。
-----	---------

2 市長あいさつ

市長	<p>市長より開会のあいさつ。</p> <p>整備基本計画は今年度が最後の年となっている。8月にサウンディング型市場調査を実施しており、アイデアを整備基本計画の策定にもいかしていきたい。計画の文章については本日の委員会で原案確定としたい。1月にパブリックコメントを実施し、庁内での合意形成を経て次回2月開催の本委員会で了承となれば3月に策定となる。</p> <p>新しく市議会議員の方が選出されており、傍聴いただいているが、実際に市民からの関心が非常に高い。お土産物屋が向かい側に移ったため、以前より来訪者が減っているのではという心配も寄せられている。これらを踏まえて今後の指針となる計画となることを心からお願い申し上げる。</p>
----	--

3 出席者紹介

事務局	欠席委員の報告（2名） 欠席オブザーバーの報告（3名）
-----	--------------------------------

4 報告事項

事務局	座長を委員長に移す。
-----	------------

（報告事項1）サウンディング型市場調査の結果概要について

事務局	サウンディング型市場調査の結果概要について説明。 9社の参加があり、宿泊施設、米を主体にした展示、ギャラリー、貸倉庫、イベントスペースなどの意見をいただいた。プランディング、費用負担、耐震診断結果の公表、文化庁への整備可能範囲の確認についても意見をいただいた。今後、事業者、文化庁と方向性を検討していきたい。ゾーニング決定の部分で今回のサウンディング調査の結果を反映した。
委員	9社の中から最終的には絞り込むのか、いただいた意見から方向性を決めるだけになるのか。どういう日程で行うか。
事務局	今回である程度倉庫が使えることが分かったため、今後は各事業者と対話しながら進めていきたい。整備が整った後に民間活用を検討したい。令和12年以降に検討の予定。

委員長	素案の中ではどこでこれについて触れているか。
事務局	P139事業計画で検討を示している。
委員長	スケジュールに載せただけでは説明が不足している。項目を設けて書いていただきたい。本質的価値を表す建造物を改造して活用する事例はあまりない。重要文化財や名勝の建造物では事例がある。登録有形文化財ではあたりまえになっている。どのようにしたら手を挙げている方の要請に応えられるのか、その指針について項目をおこして書くべき。

5 協議事項

(協議事項 1) 全体計画及び地区区分計画について

(協議事項 3) 動線計画について

事務局	協議事項 1～16の内容について、前回からの変更点を説明。 本日欠席の委員への事前説明での意見を紹介。
委員	P80河川眺望ゾーンを山居橋の北側まで伸ばしてはどうか。駐車場は民間活用ゾーンとなっているが、施設のエントランス的なゾーニングでもよいでは。 動線計画P89、P99管理者動線として書かれている動線について、乗用車の利用である南側の駐車場を車両動線として捉えてもよいのでは。
事務局	河川眺望ゾーンについては次回委員会までに検討する。駐車場は農協所有の土地のためエントランスとするのは難しい。次回までに所有者と協議して結果をご報告する。
委員	P53土地所有の状況とあるが、全農の所有地だという記載がない。
事務局	載せるように検討する。
委員長	所有者からの合意形成は難しいか。
事務局	県や全農に相談の予定ではある。再度協議する。
委員長	いろは蔵パークから来た人は北側まで行くのか。自由動線とあるが、図で動線を示しており、矛盾している。動線規制しなくともよいのでは。
委員	P74、P76の図が前回と大きく変わっている。来訪者には何を具体的に見ていただきたいのか。ストーリーを教えていただきたい。
事務局	バイパスの7号線を進むと見える水田地帯を見ていただく。
委員	新潟の場合、豪農が形成され、明治期はそこに文化とお金が落ちる。土地が湿田のため、水害が多く農民の土地が集約される構造があった。庄内平野の場合、江戸時代から米をいかに高く売りぬくかということに心血を注いだ。そのための施設であることが明確に伝わるようにしていただきたい。
委員長	山居倉庫に米が集約された過程、運搬、蔵などが一体となった情報提供が欠かせない。P76水田の土地利用だけでなく、水運、運搬、保管と関連している資産がないか、調査して文中に組み入れるべき。
委員	P77図に北前船が示されているが、細い川の上流の方までは入ってこない。

事務局	小鶴飼という表現に修正する。
委員長	P74冒頭で記載している3つの基本方針が5つの方向性とどのように結びつくのか、模式図などで示す必要がある。P7表の備考欄があるため、第4章で示した方針と関連性を明示するとよい。第4章とのつながりが明確になるように文章、図を整理すること。

(協議事項2) 全体計画および地区区分計画について

	意見なし。
--	-------

(協議事項4) 雨水排水に関する計画について

(協議事項5) 遺構の表現に関する計画について

(協議事項6) ケヤキ並木の保存整備に関する計画について

(協議事項7) 修景および植栽に関する計画について

委員	ケヤキ並木が特に今年は調子が悪そうだが問題ないか。
オブザーバー	庄内のクロマツが28万本枯れた。雨が少なく高温により弱った。山居倉庫のケヤキは22mあったが、5m剪定した。西日の熱で焼けてしまい、西側が弱っている。1年間の状況を見ないと結果の報告はできないが、今のところは心配ない。来年の春まで経過を見る。
委員長	今後どのような手法で、どのような期間で行うのか、これについては記載するか。
事務局	来年に3つの試験を行う。モニタリングについても樹木医の方からアドバイスをもらって記載する。
委員長	P104イメージ図について、表面の処理はどうするのか。土の場合、豪雨で削れるのでは。グランドカバーをしておいた方がよい。
事務局	土の予定であるが、今後検討する。

(協議事項8) 案内・解説施設に関する計画について

	意見なし。
--	-------

(協議事項9) 管理施設および便益施設に関する計画について

(協議事項10) 公開・活用およびそのための施設に関する計画について

委員	P80ゾーニングでは一緒になっている1、2号棟がP139では整備時期を分けている理由はあるか。1、2号棟で見せる内容と、12号棟でインフォメーションとして見せる内容のすみわけはどうなっているか。1号棟で人々展示していたものを同じように復活するのか。有料、無料についてもお聞きしたい。
事務局	1号棟はガイダンス、2号棟、10号棟は外観修理を行うため、分けている。1号棟の展示は業者を選定し、整備を進める予定。2号棟、10号棟は米が積まれている様子を見せたいと考えている。実際に米を積んだり、アクリル板で

	積まれているところを示すなど、費用も考えながら検討する。
委員	有料の場合、払った分だけの価値が感じられないといけない。見せるだけでなく、持続可能な形にするには、お金を落としてもらうようにするべき。
事務局	これから整備するガイダンス施設については有料化していきたい。
委員長	一律に料金を取る方法もあるが、寄付金を集める手法もある。例えばでよいので手法を示してはどうか。

(協議事項11) 管理施設および便益施設に関する計画について

(協議事項12) 地域全体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画について

委員	P130地図について、日本遺産をプロットしたとあるが、計画案の時点ではP26～29で挙げているものから日本遺産に絞り込んだということか。
事務局	山居倉庫も日本遺産になっているため、日本遺産のみでプロットした。
委員	数が減ってしまった。新井田川方面にあるものを、日本遺産でなくとも載せてもよいのでは。基本的な情報を提供する図としてもよいのでは。
事務局	日和山周辺にもいくつか建物があるが、日和山自体が遺産になっているため、図の見やすさをとってこのような図となった。再度検討する。
委員長	日本遺産という用語は記述されているか。1～4章の中に書き加えるということか。日本遺産をどう取り込むか。日本遺産だけでなく、農地・運搬に関する施設をどう取り込むか。
委員	山居倉庫の支庫を含めた広域の図を作成していただきたい。
委員長	支庫がかなりあるが、所有者が民間のため難しいところはある。どのように観光資産として生かすのか、酒田市として示してほしい。

(協議事項13) 整備事業に必要となる調査等に関する計画について

(協議事項14) 公開活用に関する計画について

(協議事項15) 管理・運営に関する計画について

委員	P135公開活用でP136の図で、耐震、防火対策など全て行ったうえで民間に貸すという意図に読めるが、活用方法によって対策の変更が出る可能性もある。民間活用の際は市で最低限の対策を行って貸すということか。
事務局	倉庫機能にする場合は耐震が必要ないなど、使い方によるため、その都度協議を行うことで考えている。
委員	サウンディングを行い、民間事業者が決まった段階で、順次対策を行っていくのか。その場合、誰がお金を出すのか。
事務局	外観と耐震までは行政で行ってほしいという意見をいただいている。保存のための耐震や、消火栓の整備に関しては行政で行うことで考えている。
委員長	文化庁が支援金を出すということがどうしても必要だったということの根拠を整理することが必要。

(協議事項16) 事業計画について

委員	石垣の事業計画が表中に見受けられないが、この年度内では行わないということか。令和6年度耐震診断での調査の結果、何か重要なものが見つかった場合、民間に貸すことができなくなるなどの可能性がある。見直しについては計画の中に入っていないがどうなるのか。
事務局	令和9年に石垣のカルテを作成するとして記載している。調査後に、計画の修正、修理を進める。外構にカルテ作成のみ書いている。耐震補強が入り、状況調査を行う。
委員	石垣も大切な部分のため、ケヤキ同様に項目を別にして方針を記載すべき。
事務局	P85～87で石垣カルテ作成の予定をまとめている。P84に合わせて耐震診断を行っていく。用途決定次第、耐震補強を行う。
委員	P139表には入れていただけないということか。P82のように項目を入れられないか。
事務局	調査が終わっていないため、明記できない。調査次第のため、現在は入れられない。
委員長	事業計画のバーチャートは略しすぎているためわかりにくい。見開きにするなどして、詳しく書くべき。
委員	表の5か年で1号棟から12号棟まで書かれているが、具体的にどこまで何をするかを示すべき。市民の方にもいつまでに何が行われるのかを説明する必要がある。

全体

委員	事業計画の中で民間活用検討とあり、ユニークベニューなどを含むと思うが、ガイドラインがないといけない。前半期でガイドラインの原案作成を行うべき。広場や倉庫前も有効に使うべき。民間活用という項目を作って書いてはどうか。
委員長	事業点検についてはどう考えているか。誰にどう評価を受けるか、どこまで達成していくのかという評価のシステムを考えるべき。計画の中に書き込むのか、別途考えるのかは市の考えによる。
委員	前半に詰め込んだスケジュールとなっているが、実現可能なのか。できなかつたことが多くならないようにしていただきたい。 植栽計画P110にあるが、⑥の石垣は新設についてはあった方がよいか。経費を見直していくことでもよいのでは。
委員長	実現可能なスケジュールの中でどうしてもやるもの、できることをどこで示すか。事務局で提示できるものとして回答を出していただきたい。
委員	概算を出すとかなりの額となるが、この計画通りやるつもりか。市としてどう考えているか。

市長	厳しい状況ではある。率直には悩んでいる。
委員	国内外に見ていただくのが酒田にとって重要となる。どういう施設になるのか、正確に、なるべく早く市民へ情報を伝えるようにしていただきたい。
委員	相馬楼は入館料と演舞鑑賞料をとっており、値上げをしたが、入場者は増えている。収益性がないと保存していくけない。相馬楼に来た方に、次はどこに行くのか聞くとほとんどの方が山居倉庫に行く。港から海外の方が歩いてくるなど、観光客はたくさん来ているので、入場料を取ればそれなりの金額は確保できる。山居倉庫に来た方に周辺の観光施設を紹介できれば、地域全体をまわっていただけるようになる。
委員	クルーズ船が来たとき、構造について説明してほしいという人もいた。一緒に山居倉庫を廻った方は、さっと廻ってすぐ買い物に向かった。サイネージを使って説明するなど、情報や案内を増やしていただきたい。
事務局	今後整備する中でサインでの英語表記をしていく。
委員長	英語で説明する人を養成するなど、説明の充実が必要。
委員	市民が山居倉庫に対して意識をもって継承していくための方法の一つとして、キャラクターをつくってはどうか。
事務局	検討する。
委員	2、10号棟の使い方について、現状保存としているが、保存するのであれば耐震補強も必要。雨水排水について、現状は地下浸透だが、勾配付けるのは越水の危険性が増すのでは。暗渠をつくるなどの整備が必要。1、2号棟付近のトイレについて、大きさはこれでよいのか。車いす用もあると大きさがかなり必要。人数の想定からトイレの大きさの検討が必要。令和12年になつて山居倉庫がやっと見されることになるが、それまでの間にイベントなどあってもよいのでは。倉庫で現在、対岸で開催しているイベントをやるなど、市民に身近な倉庫としてイベントを行うべき。

6 その他

事務局	意見をいただいた内容を踏まえて修正を行い、1月にパブリックコメントを行う。最終の委員会は2月18日に開催する予定で進めている。
-----	---

7 閉会

事務局	閉会のあいさつ
-----	---------